



報道機関 各位

記者発表資料

令和3年11月24日(水)

問い合わせ先：見沼小学校

校長：佐藤俊夫

担当：宍戸貴久(教頭)

電話：663-7342

見沼小学校のシュート板が大宮工業高校とコラボして生まれ変わります

コミュニティ・スクールである見沼小学校の「学校運営協議会」が、破損していたシュート板の製作を地域連携の一環として県立大宮工業高等学校に依頼。高校生が製作したシュート板に見沼小学校児童が「宇宙の絵」を描き、新たに生まれ変わります。

1 目的

「見沼小学校学校運営協議会」が、学校と地域のつながりをさらに深めるため、創立55周年記念事業の一つとして、県立大宮工業高等学校に依頼し、実現しました。

2 内容

- (1) 「見沼小学校学校運営協議会」が大宮工業高等学校に、破損している見沼小学校のシュート板の解体、及び新規製作を依頼。工業高校の生徒が授業の一環として足場づくり、木材の加工、絵の下書き、下地塗り等を行います。
- (2) 見沼小学校の児童が「宇宙」をテーマにした絵を描きます。
- (3) 大宮工業高等学校の生徒が、完成したシュート板を設置します。



大宮工業高校の生徒たち

3 シュート板お披露目式

日時：令和3年12月1日(水) 10時20分～10時40分

場所：校庭(雨天時は体育館)

*大宮工業高等学校の生徒と見沼小学校の児童が、シュート板完成のセレモニーを行います。



作業前のシュート板



児童によって描かれた「宇宙」

【参考】

○ 絵のテーマが「宇宙」なのは？

見沼小学校は「世界と向き合い、ゆめをもち、発信力のある児童の育成」を目指しています。その一環として、12月に打ち上げ予定のスペースX社のロケットに、子どもたちの夢を掲げた写真を載せ、国際宇宙ステーションに届ける「こども宇宙プロジェクト2021」に参加しています。また、来年は本市出身のJAXA宇宙飛行士・若田光一さんが5度目の宇宙滞在することが決まっています。これらを受けて、見沼小学校学校運営協議会では、子どもたちの夢を育む象徴としてテーマを「宇宙」と決め、希望者を募り、シュート板に描きました。



児童によって描かれた「宇宙」

○ 「シュート板お披露目式」参加者（予定）

- ・さいたま市立見沼小学校児童（424名）
- ・さいたま市立見沼小学校学校運営協議会より
森田暁（東大宮2丁目自治会長） 川名恵子（ブルーハイツ自治会長）
- ・埼玉県立大宮工業高等学校より
建築科 課題研究「鳶（とび）班」生徒8名（高校3年生）
建築科 加藤正則教諭、坂井応紀教諭、電子機械科 宮崎正海教諭

○ コミュニティ・スクールとは

学校運営協議会を設置した学校のこと、さいたま市では令和4年度にすべての小中学校に設置される予定で準備を進めています。見沼小学校はモデル校として令和元年度に学校運営協議会が設置され、3年目を迎えます。

見沼小学校学校運営協議会は自治会、青少年育成会、チャレンジスクール、民生委員、防犯ボランティア、PTA等から選出された15名で構成されています。見沼小学校学校運営協議会では、児童と地域の関わりを深めながら「コミュニケーション力を向上させる」ことを目標に、様々な取組を行っています。

○ これまでの経緯

- (1) 令和2年11月、第2回見沼小学校学校運営協議会にて、地域連携の一環として県立大宮工業高等学校との協働事業を提案。
- (2) 令和3年2月、破損していたシュート板の修繕及び製作を依頼。
- (3) 令和3年9月、見沼小学校シュート板、修繕作業開始。
- (4) 令和3年11月6日（土）、見沼小学校児童の希望者で「シュート板お絵描き会」を実施。児童84名、保護者等88名、計172名が参加し、宇宙をテーマとした絵を描く。
- (5) 令和3年11月下旬、大宮工業高校の生徒が、塗りあがったシュート板を設置する予定。